

黒毛和種の循環型一貫経営

(三重県：株式会社 三重加藤牧場)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
○	○		○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：三重県四日市市、明和町、滋賀県東近江市
- ・代表者：代表取締役 加藤 勝也
- ・飼養頭数：総頭数1,295頭（繁殖牛：525頭、肥育牛：770頭）
- ・飼料作物作付面積：
稲わら・麦わら収集面積：233ha、自給飼料作付け面積：25ha
- ・雇用者数：13名（パート・アルバイト含む）
- ・HP等：<http://www.mie-katoubokujyou.com/>



株式会社三重加藤牧場のみなさん

<取組について>

○ 概要

- ・近隣に住宅地が密集しているため、臭気対策を徹底。堆肥攪拌装置（スクリージェッター）を導入し、堆肥の発酵は非常に良好。
- ・ICT機器を、早くから活用。発情発見装置「牛歩」から始まり、またファームノートおよびファームノートカラーを供用し、センサーを首に取り付け、発情だけでなく様々な行動を記録できるソフトを利用。
- ・分娩立ち合いのためのシステム「牛温恵」も導入し、ピンポイントで分娩に立ち会うことができ、事故も減った。
- ・地域の和牛繁殖基盤の強化を図るため、優良な子牛を効率的に生産する手法を模索してきており、ゲノム検査を活用した優良な受精卵の作成や、交雑牛への和牛受精卵の移植等、先進的な取組を多数行っている。また、家畜改良事業団へ種雄牛候補牛を販売するなど、重要な和牛繁殖基盤を担っている。
- ・近隣耕種農家と20年以上にわたり、稲わら、麦わら・堆肥の交換による耕畜連携を実施。稲わら収集圃場は230ha以上で、利用残の稲わらは販売。
- ・肥育牛・繁殖牛用の粗飼料は100%地元産。
- ・生産する牛肉では4等級以上の品質確保にこだわり、牛肉のプライベートブランドの確立（加藤牧場牛）など、経営安定のための取組を実施。
- ・地域の豆腐工場からおからを調達し、発酵させてタンパク質が豊富な濃厚飼料を配合飼料と混合し飼料利用することで環境に配慮した取り組みを実施。

